

小美玉市公共施設建築物系個別施設計画

令和3年3月

令和5年6月

令和7年3月

令和8年6月

小 美 玉 市

小美玉市公共施設建築物系個別施設計画

目 次

第1章 公共施設建築物系個別施設計画の位置付け等

1. 公共施設個別施設計画の背景と目的	1
2. 計画の位置付け	1
3. 対象施設	1
4. 計画期間	1

第2章 公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方

1. 公共施設の老朽化状況	2
2. 長寿命化の判断	5
3. 修繕・改修サイクルの見直し	7
4. 施設の整備水準	8

第3章 施設類型ごとの個別施設計画

1. 公共施設等総合管理計画の基本方針	
(1) 公共施設等総合管理計画の基本方針	9
(2) 施設類型別の改善の方向性	10
2. 個別施設計画	
(1) 庁舎	11
(2) 消防施設	12
(3) 文化ホール	16
(4) その他集会施設	17
(5) 資料館等	19
(6) 産業系施設	20
(7) スポーツ施設	21
(8) 保健・福祉施設, 医療施設	23
(9) 図書館	25
(10) 公民館	27
(11) 地区公民館	28
(12) 小学校・中学校	32
(13) 放課後子どもプラン	35
(14) 幼稚園	37
(15) 給食センター	38
(16) 公営住宅	39
(17) その他	41
(18) 閉校・廃止施設	42
3. 長期の整備費用	43

第4章 計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用 -----44
2. 推進体制等の整備 -----45
3. フォローアップ -----45

第1章

公共施設建築物系個別施設計画の位置付け等

第1章 公共施設建築物系個別施設計画の位置付け等

1. 公共施設建築物系個別施設計画の背景と目的

「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画（以下「個別施設計画」）」とは、「小美玉市公共施設等総合管理計画 改訂版（以下「総合管理計画改訂版」）」でとりまとめた基本的な考え方や施設類型別の改善の方向性を踏まえ、建築物の長寿命化や修繕・更新時期の分散、財政負担の平準化を考慮した公共施設の修繕・更新の実施計画です。

「総合管理計画改訂版」策定にあたって整理した劣化状況やそれに基づく長期の整備費用、将来を見据えた段階的な再編の方向性を踏まえ、今後40年間の方向性を定めます。

2. 計画の位置付け

(1) 個別施設計画は、上位計画である「総合管理計画改訂版」に基づき、各施策の中の施設面の取組みに関して、具体的な行動計画として提示するものです。

なお、「小美玉市総合計画」「小美玉市都市計画マスタープラン」「小美玉市立地適正化計画」といった関連する各計画や財政運営との連動・調整を図りながら、公共施設等の総合的な再編・維持管理を行うものとしします。

(2) 各施設の方向性については、老朽化及び利用状況等を個別に調査した結果を踏まえ、それぞれの施設所管課において十分に検討した上で、整理したものです。

(3) 学校跡地についての利活用は「小美玉市学校跡地利活用基本方針」により、学校以外の施設跡地については、同方針を準用しながら、別途検討します。

3. 対象施設

本市が保有する「公共施設」を対象とします。

公共施設は、庁舎、消防施設、文化ホール、その他集会施設、資料館等、産業系施設、スポーツ施設、保健・福祉施設、医療施設、図書館、公民館、地区公民館、小学校・中学校、放課後子どもプラン、幼稚園、給食センター、公営住宅等を対象とします。

インフラ施設は、分野（道路・橋りょう、上水道、下水道）ごとに、個別施設計画を別途策定していることから、対象外とします。

4. 計画期間

本計画は、総合管理計画改定版を受けて策定するものであるため、令和3（2021）年度から令和42（2060）年度までの40年間とします。また、計画期間中、10年ごとの具体的な実行計画（個別施設計画）を示します。

なお、計画のローリングについては、総合管理計画改定版と連動し、5年ごとに個別施設計画の進捗状況を検証し、必要に応じて改善・見直しを図って、次の実行計画に反映していきます。加えて、歳入減や扶助費等の増加など、財政試算の前提条件に変更が生じた場合にも適宜見直しを行うこととします。

第2章

公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方

第2章 公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方

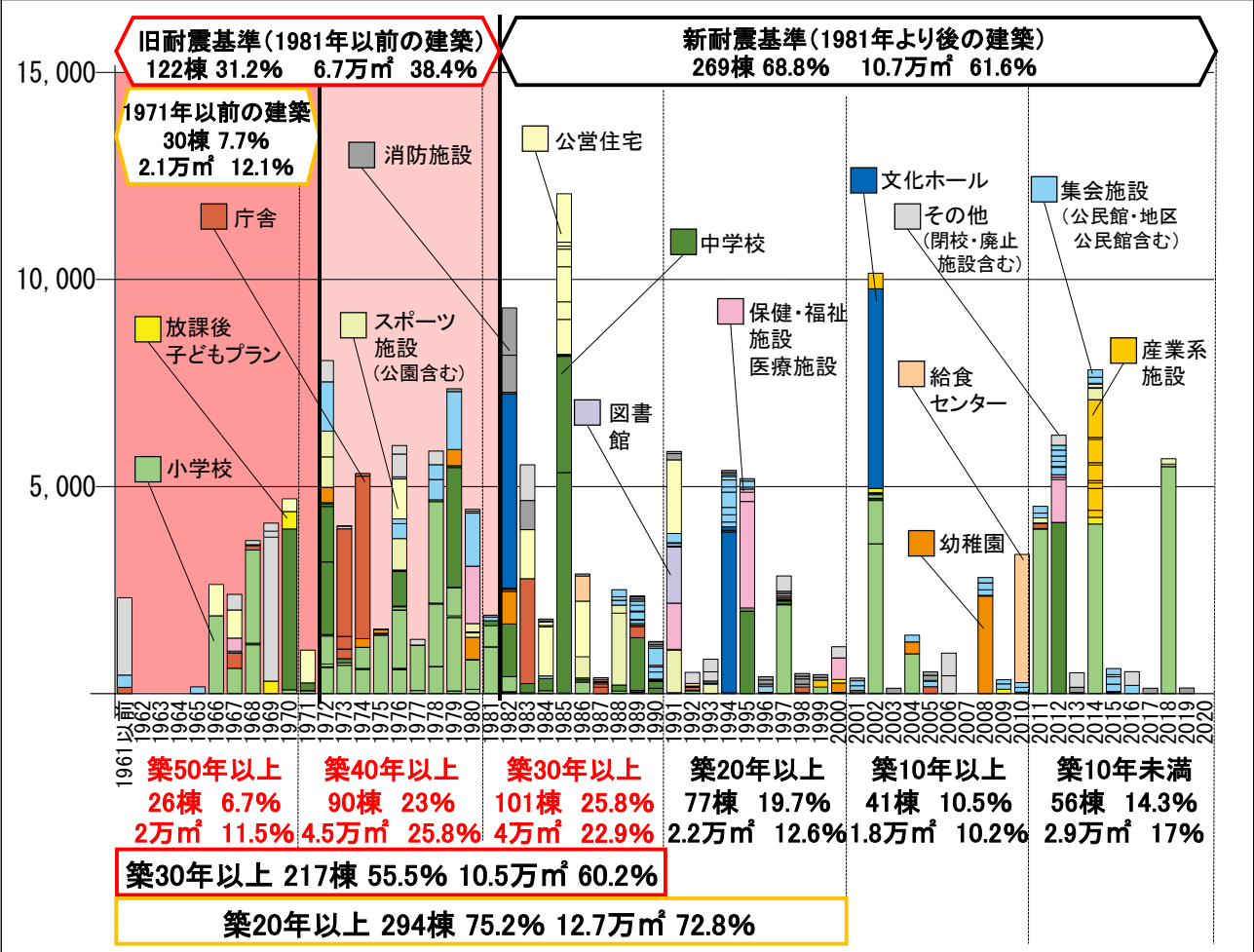
1. 公共施設の老朽化状況（「総合管理計画 改訂版」より抜粋）

（1）築年別整備の状況

新耐震基準の建物が全体の約69%と比較的新しい施設が多いですが、築30年以上の施設が約55%と老朽化が着実に進行しています。

保有量の多い学校施設は老朽化が進行していますが、令和3年4月に玉里学園義務教育学校、令和4年4月に小川北義務教育学校が開校予定となっているため、それに伴う改修・改築が進められています。

図表 築年別整備状況



※スポーツ施設には公園のトイレ・倉庫等、その他には環境衛生施設（上・下水道）・霊園等の計画対象外施設を含む。

(2) 劣化状況

令和元年度に技術者による現地目視調査によって躯体以外の劣化状況を評価しました。

評価基準は文部科学省『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』に準じ、下表のとおりとしています。

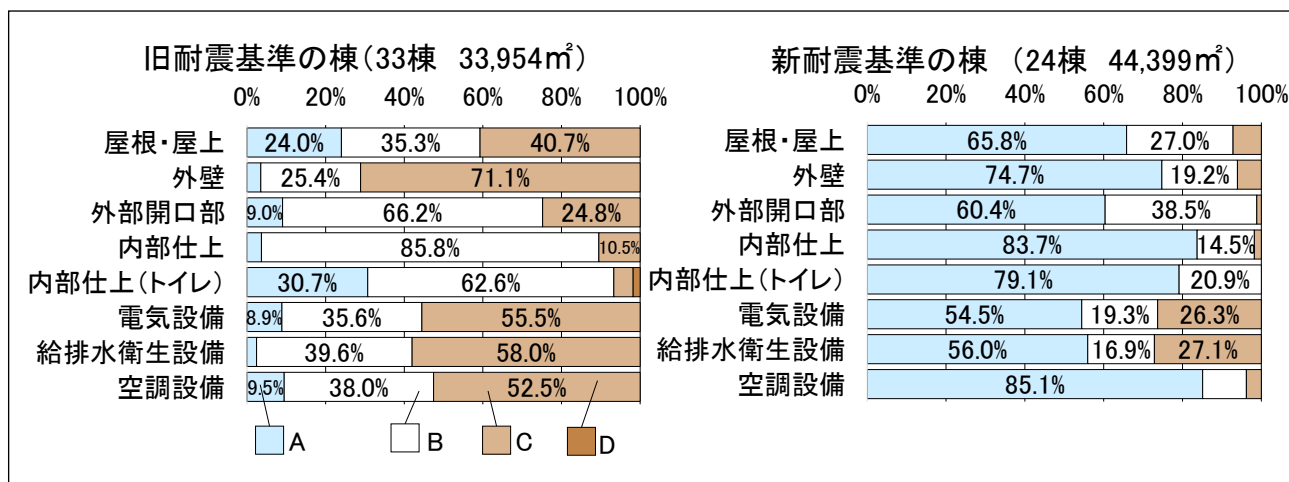
良好 劣化	基 準		経過年数による目安
	A	概ね良好	標準耐用年数の半分以上
	B	部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし)	標準耐用年数以内
	C	広範囲に劣化 (安全上、機能上、低下の兆し)	標準耐用年数を超過
	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)	著しい劣化事象がある場合

■ 学校施設

旧耐震基準の棟が殆ど改修されておらず、老朽化が進んでいます。部位別でも旧耐震基準の棟は、内部仕上以外は全部位で劣化が進行しています。

良好な棟はほとんどが築 20 年以内または大規模改修後 20 年以内という結果でした。

図表 部位ごとの劣化状況（面積比）

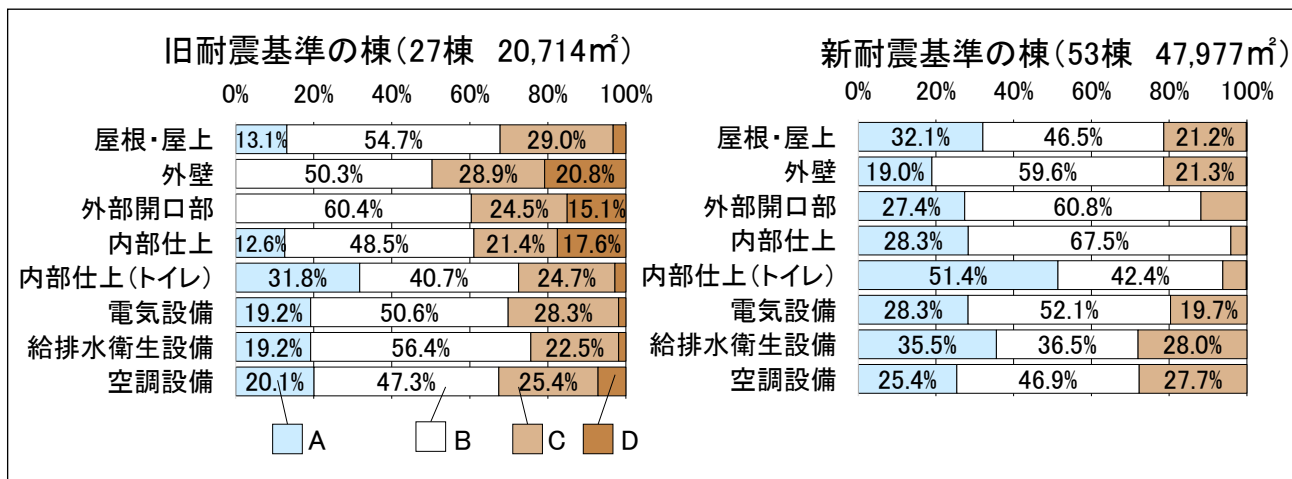


■ 一般公共施設

D 評価がある棟は多いものの、殆ど(12 棟中 11 棟)が既に廃止済み、もしくは廃止予定の棟となっています。旧耐震基準の棟は老朽化が顕著で全ての部位で劣化が進んでいます。

新耐震基準の棟は基本的に良好です。学校施設と同様に大規模改修未実施の施設の老朽化が著しいという結果でした。

図表 部位ごとの劣化状況（面積比）



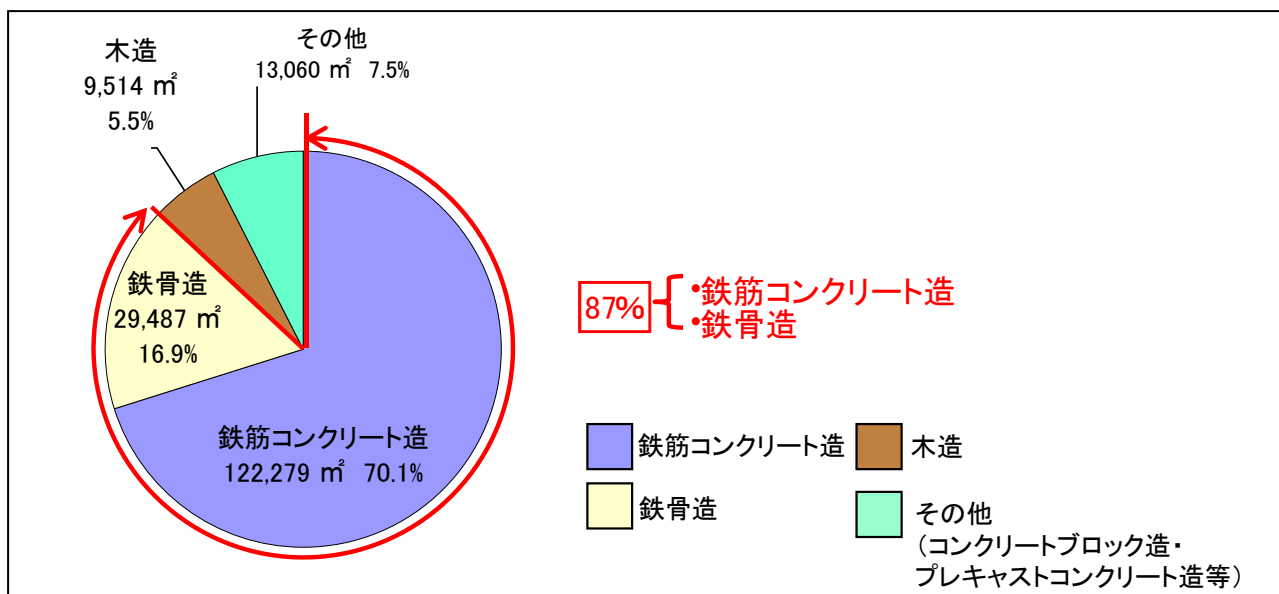
2. 長寿命化の判断

(1) 構造別の保有状況

市全体で構造別床面積をみた場合、鉄筋コンクリート造と鉄骨造が全体の87%を占めており、残りの13%のうち、5%が木造、残りはコンクリートブロック造等となっています。

学校や比較的面积の大きい施設は鉄筋コンクリート造となっており、学校等の体育館や消防団の機庫、小美玉温泉ことぶき本館や空のえき「そ・ら・ら」といった近年築の施設は鉄骨造となっています。また、木造は地区公民館、プレキャストコンクリート造は市営住宅で多く採用されています。

構造別床面積



(2) 構造躯体の健全性評価

構造躯体の健全性は、耐震診断時のデータよりコンクリート圧縮強度を評価することで、躯体としての長寿命化の可否を判断します。

耐震診断時のデータによりコンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下となった建物は長寿命化に向かない可能性があります。

調査の結果、圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下の建物はありませんでしたが、一般公共施設の中には耐震診断実施時のデータがない建物もあるため、長寿命化を判断する際には調査が必要となります。

(3) 長寿命化の判断

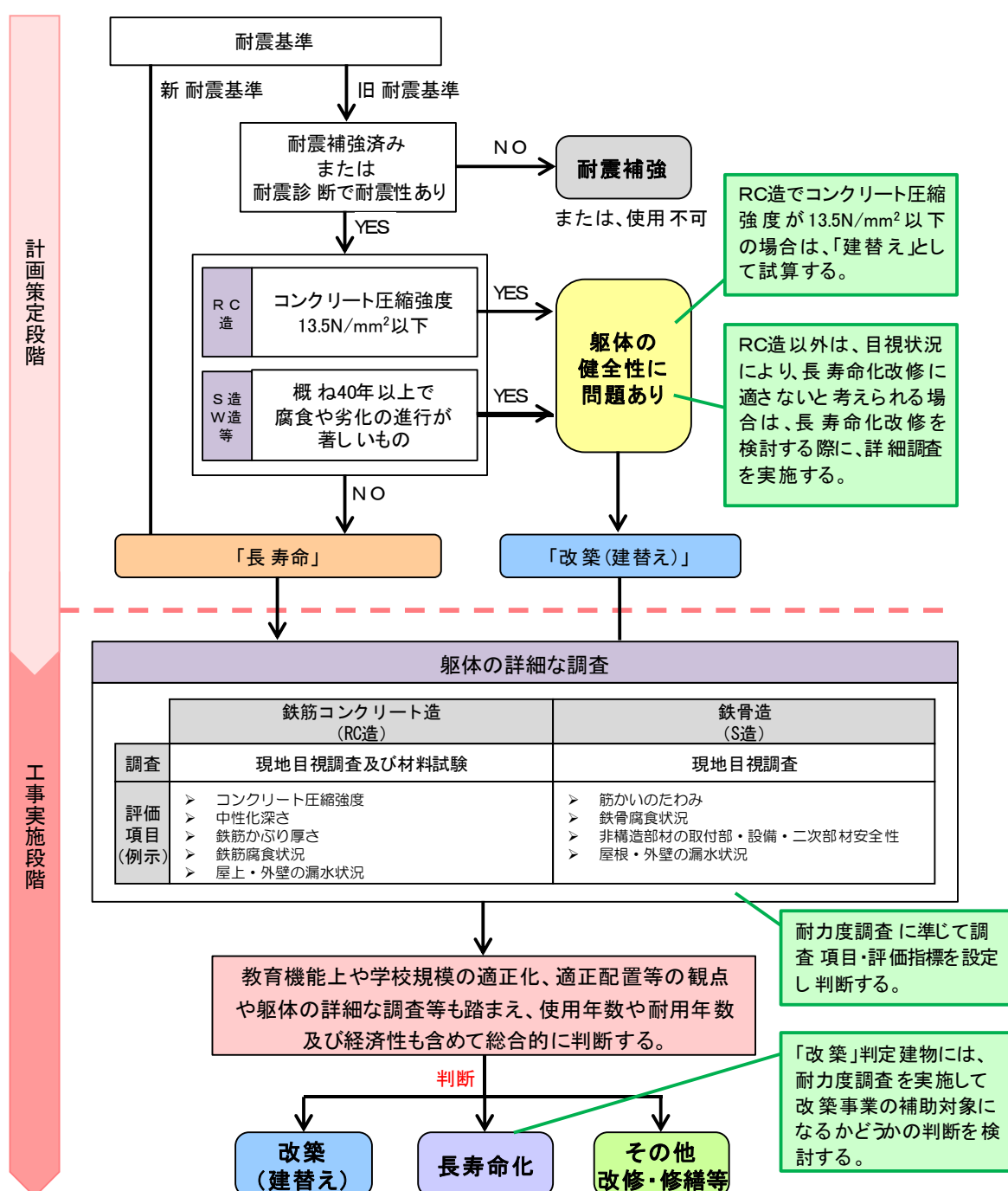
長寿命化の判断は、「学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書」平成 29 年 3 月（文部科学省）で示されており、計画策定段階では、耐震診断時の圧縮強度のデータと耐震安全性が確保されているかで判断します。

次に、工事実施段階では、躯体の詳細な調査を実施し、さらに経済性や、機能上などの観点から総合的に判断します。

また、築 80 年を迎える前に躯体の健全性を調査し、健全であれば、さらに長寿命化することを検討します。

長寿命化判定フロー

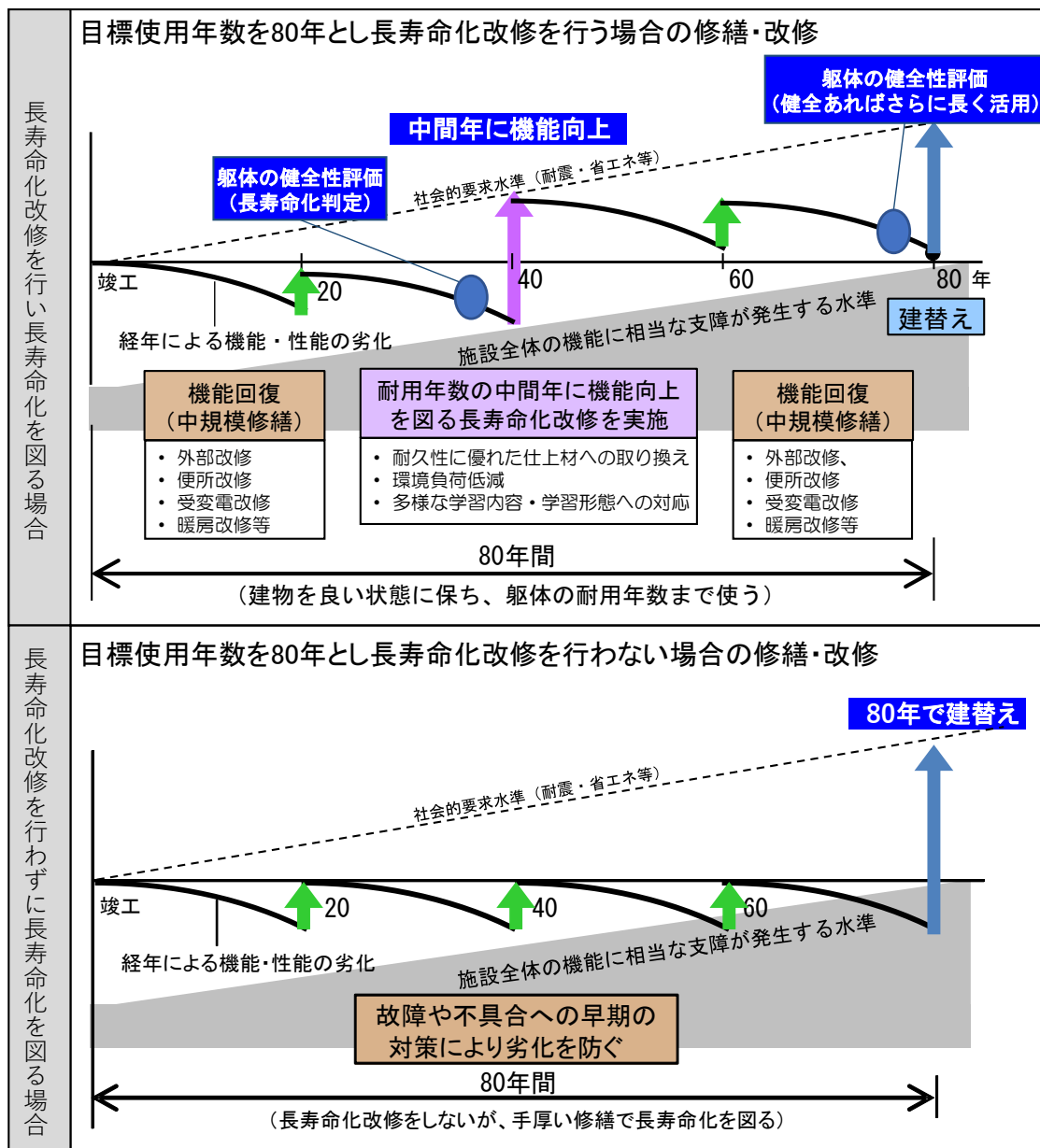
「学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書」H29年3月（文部科学省）



3. 修繕・改修サイクルの見直し

長寿命化にあたり建物が経年で老朽化するほか、耐震性能や省エネ性能などの社会的要求水準は年々高まるため、定期的に修繕・改修を行わなければ建物の機能に支障が生じます。

そこで、建物の目標耐用年数の中間年で、建設時の整備水準を超える省エネ、バリアフリー、防災等を含む長寿命化改修を行うこととします。さらに部位の更新時期に合わせて 20 年程度の修繕周期を設定することで、建物に求められる性能を維持します。



建替え中心のあり方から長寿命化改修へ

- これまでの建替え中心の維持管理から、長寿命化に伴い目標耐用年数の中間年で安全性の確保と機能向上を図る長寿命化改修を行います。

維持管理・修繕・更新等の実施方針

目標耐用年数に応じた改修・更新サイクルの確立

- 部位別の更新時期に合わせて20年程度の修繕周期を設定し、建物に求められる性能を維持します。

4. 施設の整備水準

現状の整備レベルは建設当時の一般的なレベルでありましたが、現在の省エネルギー化等の社会的要求に対応できているとは言えません。そこで、ここでは、学校施設を例に長寿命化に資するための改修サイクルに応じた改修内容と、同時に機能を向上する改修内容を設定します。整備レベルの向上とライフサイクルでの効果をあわせて検討し、最適解を求めます。

図 今後の整備レベル（学校）

工種		中規模修繕	長寿命化改修	建替え
機能回復	屋根 屋上	防水改修	防水改修	アスファルト防水
	外壁	耐久性の高い塗材	耐久性の高い塗材	耐久性の高い塗材
	主要な 設備機器 の更新	受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機	受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機 配線・配管の更新	受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機
	不具合への 対応	劣化部位全体の修繕	劣化部位全体の修繕 躯体補修 (ひびの補修等)	
	外部 開口部	シーリング打替え 開閉調整程度	サッシ交換 複層ガラス (断熱窓・強化ガラス)	複層ガラス (断熱窓・強化ガラス)
機能向上	内部	一部の内壁・天井の修繕	教室 床：フローリングブロック (下地共) 壁：EP塗装 間仕切り：アルミパーテーション 天井：LGS(耐震)下地PB その他：実験台、ロッカー、黒板 等の更新 廊下：天井・床・壁の改修 照明：LED化	教室 床：フローリングブロックt15、 壁：EP塗装 間仕切り：アルミパーテーション 天井：LGS(耐震)下地PB その他：実験台、ロッカー、黒板 等の更新 廊下：ビニール床シート 照明：LED
	トイレ 空調 昇降機	トイレドライ化 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置	トイレドライ化 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置 断熱化 バリアフリー 省エネルギー化	ドライ式トイレ 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置 断熱化 バリアフリー 省エネルギー化
	バリアフリー 諸室構成 防災機能等		オストメイト対応トイレ 小人数教室等の設置 内部木質化(一部)	オストメイト対応トイレ 小人数教室等の設置 内部木質化(一部)

：点線の改修は、状況により実施

第3章

施設類型ごとの個別施設計画

1. 公共施設等総合管理計画の基本方針<「総合管理計画 改訂版」より抜粋>
公共施設等の適正な管理に向け、以下の5つの基本方針を掲げます。

課題のまとめ

ハード面から課題抽出

- ✓ 学校施設は基本的に長寿命化可能。一般施設では、耐震診断が未実施の施設がある。
- ✓ 現状保有量17.4万㎡を今後も維持し続けると、40年間の維持・更新コストは727億円、直近10年間は年平均22.9億円で、財政ラインと2.1倍のかい離している。

公共施設を取り巻く課題抽出

- ✓ 地域によって人口変化も異なることから、将来の地域のまちづくりの変化と連動した施設再編を検討する必要がある。
- ✓ 今後も厳しい財政状況
- ✓ 中期財政計画に基づきシミュレーションすると、**今後の財政ラインは 11～15 億円/年**

削減目標	40年間で延床面積 30%削減
------	---------------------------

用途ごとの課題抽出

- ✓ 同じ地区内に、公民館やその他集会施設など類似施設が近接しており、利用が少ない施設がある。
- ✓ 資料館やその他集会施設では利用が少ないためコストが割高
- ✓ 文化施設や保健センター等は、1区1館と機能が重複

基本方針

1 適切な維持管理による 財政負担の軽減

- 建替えと長寿命化改修の併用、施設の優先順位づけ
- 計画的な維持・保全の実施
- ユニバーサルデザイン化・脱炭素化の推進

2 将来のまちづくりと 連動した適正配置

- 施設重視から機能重視
(機能の見直し) (類似機能の集約化)
(複合化・多機能化)
- 施設総量の適正化

3 継続的な計画の見直し

- 情報の一元化、変化への柔軟な対応
- 計画の継続的な見直し(5年毎の事業の見直し)
- 庁内マネジメント体制の構築

4 資産の長期的かつ安定的な運用

- 借地の解消及び公用財産取得への転換
- 跡地・遊休地を売却・賃借し更新費用に充当

5 市民・民間事業者との協働

- 市民との協働の推進
- 国・県・民間事業者等との連携、広域連携

（２）施設類型別の改善の方向性

基本方針に沿って公共施設マネジメントを実行し改善を図るために、施設類型ごとの改善の方向性を定めます。

用途	改善の方向性
庁舎	人口減少にあわせて、将来的には１か所に集約化する。
消防署	建替え時期にあわせて、消防本部・小川消防署と玉里消防署を集約化し、２拠点にする。
文化ホール	「まるごと文化ホール計画」を推進するため、当面は現状施設を活用するが、生涯学習センターは、将来的に民間活力の導入を検討する。
その他集会施設	耐震診断未実施施設は、他の施設と集約化・複合化する。 その他の施設も、他の施設との集約化または売却/貸付等を検討する。
資料館等	複合施設の方向性に準拠する。
産業系施設	現状施設を活用するが、運営方式の見直し等についても検討する。
スポーツ施設	小川運動公園体育館は、旧橘小体育館へ集約化する。 運動広場は、利用状況を明確化し、譲渡や他の施設での代用を検討する。 その他の施設は、現状施設を活用する。
保健・福祉施設 医療施設	保健センターは、庁舎の統合とあわせて、将来的には１か所に集約化する。
図書館	複合施設の方向性に準拠する。
公民館	耐震診断未実施施設は、他の施設と集約化・複合化する。
地区公民館	防衛補助対象外の「地区公民館」は、各行政区へ譲渡する。
小学校・中学校	義務教育学校整備後、廃校後の学校は原則「除却」の方向性で検討を進める。 美野里地区の小学校は、児童数の動向をみながら他の施設と複合化し、地域の拠点施設とする。
放課後子どもプラン	小学校にあわせて、整備する。
幼稚園	美野里地区の幼稚園は、竹原小学校内へ統合・集約化する。 玉里幼稚園は、将来的に元気っ子幼稚園に統合・集約化する。
公営住宅	策定済みの長寿命化計画の方向性に準拠する。

2. 個別施設計画

(1) 庁舎

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、庁舎を有する施設を3施設設置しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	市役所 本庁舎	堅倉835	美野里	3,926.9	昭和49	RC造
2	市役所 分庁舎			370.7	昭和42	S造
3	小川総合支所	小川4-11	小川	2,867.7	昭和48	RC造
4	玉里総合支所	上玉里1122	玉里	2,531.4	昭和58	RC造
	合計			9,696.7		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上の棟は4棟です。

③ 施設類型の基本方針

- 人口減少にあわせて、将来的には1か所に集約化する。

④ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
本庁舎		中規模修繕		解体	将来的に1か所に集約化
分庁舎	中規模修繕		建替え		令和8年度 トイレ修繕によるユニバーサルデザイン化・バリアフリー化
小川総合支所		中規模修繕		解体	将来的に1か所に集約化 令和6,7年度 エレベーター新設によるユニバーサルデザイン化・バリアフリー化
玉里総合支所		長寿命化		解体	将来的に1か所に集約化
(新) 庁舎				新設	

(2) 消防施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、消防機能を有する施設を3施設設置しています。また、各地区の消防団の活動拠点として分団機庫を34施設設置しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	消防本部・小川消防署	小川43-2	小川	1,287.5	昭和57	RC造
2	美野里消防署	部室1199-41	美野里	897.2	昭和57	RC造
3	玉里消防署	上玉里2956-4	玉里	704.7	昭和58	RC造
4	第1分団消防機庫(堅倉)	堅倉1037-1	美野里	129.0	平成15	S造
5	第2分団消防機庫(竹原)	竹原2339	美野里	130.4	平成29	S造
6	第3分団消防機庫(羽鳥)	羽鳥845	美野里	152.0	平成3	S造
7	第3分団消防機庫(旭区)	羽鳥2738-558	美野里	54.0	平成8	S造
8	第4分団消防機庫(納場)	納場573-2	美野里	100.2	平成8	S造
9	第5分団消防機庫(西郷地)	西郷地1551	美野里	124.0	平成10	S造
10	第6分団消防機庫(川岸)	小川1386	小川	100.8	昭和51	S造
11	第6分団消防機庫(大町)	小川1647	小川	50.4	昭和61	S造
12	第6分団消防機庫(小埜)	下馬場170-1	小川	50.4	平成1	S造
13	第7分団消防機庫(立延)	中延432	小川	50.4	平成7年	S造
14	第7分団消防機庫(下田)	中延1932-1	小川	50.4	平成2	S造
15	第7分団消防機庫(宮田)	宮田257	小川	50.4	平成1	S造
16	第8分団消防機庫(隠谷)	野田334-22	小川	124.8	平成25	S造
17	第8分団消防機庫(鷺沼)	野田1302-3	小川	50.4	平成2	S造
18	第9分団消防機庫(世楽)	世楽307	小川	50.4	平成6	S造
19	第9分団消防機庫(前原)	飯前538-1	小川	50.4	平成3	S造
20	第10分団消防機庫(飯前)	飯前1246-12	小川	50.4	平成9	S造
21	第11分団消防機庫(宿)	下吉影591-1	小川	75.6	平成8	S造
22	第11分団消防機庫(貝谷)	下吉影954	小川	50.4	昭和56	S造
23	第12分団消防機庫(与沢百里)	与沢253-20	小川	50.4	平成6	S造
24	第12分団消防機庫(与沢)	与沢733-1	小川	137.3	令和1	S造
25	第13分団消防機庫(外之内)	外之内435-1	小川	50.4	昭和55	S造
26	第13分団消防機庫(羽木上)	山野84	小川	50.4	昭和62	S造
27	第13分団消防機庫(川戸)	川戸439-1, 441-1	小川	50.4	平成5	S造
28	第14分団消防機庫(上高崎)	高崎922-1	玉里	66.2	平成11	S造
29	第14分団消防機庫(下高崎)	高崎833-1	玉里	66.2	平成10	S造
30	第15分団消防機庫(上玉里)	上玉里1122	玉里	66.2	平成9	S造

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
31	第15分団消防機庫(田木谷駅前)	田木谷257-1	玉里	85.7	平成17	S造
32	第16分団消防機庫(田木谷本区)	田木谷577-1	玉里	139.3	平成17	W造
33	第16分団消防機庫(栗又四ヶ)	栗又四ヶ1668-1	玉里	66.2	平成13	S造
34	第17分団消防機庫(川中子)	川中子1362-5	玉里	66.2	昭和54	S造
35	第17分団消防機庫(岡)	下玉里2066-3	玉里	66.2	平成11	S造
36	第18分団消防機庫(大井戸平山)	下玉里1163	玉里	66.2	平成10	S造
37	第19分団消防機庫(新高浜第一)	栗又四ヶ2316-10	玉里	56.2	平成7	S造
	合計			5,467.9		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上の棟は3棟です。

③ 施設類型の基本方針

- 建替え時期にあわせて、消防本部・小川消防署と玉里消防署を集約化し、2拠点にする。

④ 個別施設ごとの40年間(2060(令和42)年度まで)の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
消防本部・小川消防署	中規模修繕		解体		玉里消防署と集約化
消防本部警防課棟	中規模修繕		解体		玉里消防署と集約化
美野里消防署	長寿命化	長寿命化	中規模修繕		
玉里消防署	中規模修繕		解体		消防本部・小川消防署と集約化
(新) 消防本部			新設		
第1分団消防機庫 (堅倉)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第2分団消防機庫 (竹原)	●			●	
第3分団消防機庫 (羽鳥)	解体				移転・建替え

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
第3分団消防機庫 (旭区)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
(新)第3分団消防 機庫	新設	●		●	
第4分団消防機庫 (納場)	●			●	
第4分団消防車庫 (納場)	●			●	
第5分団消防機庫 (西郷地)	●			●	
第6分団消防機庫 (川岸)	解体				集約・建替え
第6分団消防機庫 (大町)	解体				
第6分団消防機庫 (小槁)	解体				
(新)第6分団消防 機庫	新設	●		●	消防本部の点検等により改修を実施
第7分団消防機庫 (立延)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第7分団消防機庫 (下田)	●			●	
第7分団消防機庫 (宮田)	●			●	
第8分団消防機庫 (隠谷)	●			●	
第8分団消防機庫 (鷺沼)	解体				
第9分団消防機庫 (世楽)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第9分団消防機庫 (前原)	●			●	
第10分団消防機庫 (飯前)	●			●	
第11分団消防機庫 (宿)	●			●	
第11分団消防機庫 (貝谷)	●			●	
第12分団消防機庫 (与沢百里)	解体				消防本部の点検等により改修を実施
第12分団消防機庫 (与沢)	●			●	

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
第13分団消防機庫 (外之内)	解体				集約・建替え
第13分団消防機庫 (羽木上)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第13分団消防機庫 (川戸)	解体				
(新)第13分団消防機庫	新設	●		●	
第14分団消防機庫 (上高崎)	●			●	
第14分団消防機庫 (下高崎)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第15分団消防機庫 (上玉里)	●			●	
第15分団消防機庫 (田木谷駅前)	譲渡				行政区に譲渡
第16分団消防機庫 (田木谷本区)	譲渡				行政区に譲渡
第16分団消防機庫 (栗又四ヶ)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第17分団消防機庫 (川中子)	解体				
第17分団消防機庫 (岡)	●			●	消防本部の点検等により改修を実施
第18分団消防機庫 (大井戸平山)	●			●	
第19分団消防機庫 (新高浜第一)	●			●	

(3) 文化ホール

① 対象施設一覧

文化ホールとして、生涯学習センター（玉里文化ホール）、四季文化館（みの〜れ）、小川文化センター（アピオス）の3施設があります。

図表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設機能		
1	生涯学習センター(玉里文化ホール)	高崎291-3	玉里	2,187.2	平成6	RC造	公民館	図書館	史料館
2	四季文化館(みの〜れ)	部室1106	美野里	4,819.4	平成14	RC造			
3	小川文化センター(アピオス)	小川225	小川	4,716.1	昭和57	RC造			
	合計			11,722.7					

※ 生涯学習センターは、文化ホール分面積を記載

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上40年未満の棟は1棟です。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 文化ホール3施設の利用件数は年間5,541件、利用者数は17万8,042人。
- ・ 展示スペース等も含めた利用者数の推移は、21万9,108人から27万3,152人と、微増傾向で推移しています。
- ・ 小川文化センターは、1,081席の大ホールを保有していることもあり、興行系の利用が多くなっています。四季文化館の中ホール・小ホールは、それぞれ分割して小規模団体でも活用できるようになっていることも利用者の増加につながっていると推察されます。
- ・ 生涯学習センター（玉里文化ホール）の利用1件当たりにかかるコストが他の2館に比べて割高となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 「まるごと文化ホール計画」を推進するため、当面は現状施設を活用するが、生涯学習センターは、将来的に民間活力の導入を検討する。

④ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
生涯学習センター (玉里文化ホール)		長寿命化		売却/貸付	将来的に民間活力の導入を検討
四季文化館		中規模修繕		長寿命化	
小川文化センター		長寿命化		中規模修繕	

(4) その他集会施設

① 施設一覧

主に住民の集会および学習の場としてその他集会施設として、合計 8 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設 機能	
1	農村女性の家	納場481-5	美野里	368.6	昭和53	S造		
2	農村環境改善センター	中台559	美野里	1,398.0	昭和54	RC造	プール	
3	羽鳥ふれあいセンター	羽鳥2663-70	美野里	336.6	平成2	S造	出張所	図書室
4	やすらぎの里小川	中延1508-1	小川	1,284.9	平成6	W造		
5	しみじみの家	高崎300-2	玉里	168.7	昭和63	W造		
6	民家園	下玉里1831	玉里	146.3	平成8	W造		
7	玉川地区学習等供用施設	下玉里2058	玉里	443.0	昭和51	RC造		
8	玉里地区学習等供用施設	上玉里1122	玉里	423.2	昭和58	RC造	総合支所	
	合計			4,569.3				

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 30 年以上の棟は6棟あります。
- ・ 農村女性の家、農村環境改善センターは、旧耐震基準の建物であり、耐震診断が未実施であるため、今後も使用する場合は、早急に耐震診断を行う必要があります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式はいずれも市直営となっており、農村環境改善センターでは一部窓口業務をシルバー人材センターに委託しています。
- ・ 玉里地区学習等供用施設は、令和元年度から玉里総合支所の3階に併設されています。
- ・ 玉里地区学習等供用施設を除く利用者数は 4 万 4,533 人。
- ・ 施設別では、しみじみの家の 1,385 人から農村環境改善センターの 1 万 6,726 人。
- ・ 直近 3 年間の利用件数をみると、3,226 件から 3,185 件とほぼ横ばいで推移しています。
- ・ やすらぎの里小川の利用 1 件当たりに係るコストは 9 万 866 円、1 人当たりに係るコストは 6,921 円と割高となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 耐震診断未実施施設は、他の施設と集約化・複合化する。
- その他の施設も、他の施設との集約化または売却/貸付等を検討する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
農村女性の家	解体				納場幼稚園へ機能移転
農村環境改善センター	解体				竹原小学校、教育支援センター(旧美野里地域食材供給施設)へ機能移転
羽鳥ふれあいセンター	解体				(仮称)羽鳥駅東口複合施設へ機能移転
やすらぎの里小川		長寿命化		中規模修繕	
しみじみの家		売却/貸付			
民家園		長寿命化		中規模修繕	
玉川地区学習等供用施設		譲渡			
玉里地区学習等供用施設		長寿命化		解体	
生涯学習交流施設	新設		中規模修繕		
(仮称) 羽鳥駅東口複合施設	新設		中規模修繕		
教育支援センター (旧美野里地域食材供給施設)	用途変更/ 中規模修繕		長寿命化		美野里地域食材供給施設から用途変更

(5) 資料館等

① 施設一覧

資料館等として2施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設機能		
1	玉里史料館	高崎291-3	玉里	338.7	平成6	RC造	ホール	公民館	図書館
2	小川資料館	小川1664-2	小川	490.2	平成3	RC造			図書館
	合計			828.9					

※ 2施設とも、資料館分面積を記載

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年未満の棟は2棟あります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 資料館等2施設はいずれも図書館等の複合施設となっており、1日当たりの利用者数は2人から3人と少ないため、玉里史料館が1万4,916円、小川資料館が2万4,523円と割高となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 複合施設の方向性に準拠する。

④ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
玉里史料館		長寿命化		売却/貸付	【文化ホール】 生涯学習センター（玉里文化ホール）の方向性に準拠する
小川資料館	長寿命化		中規模修繕		

(6) 産業系施設

① 施設一覧

産業系施設として、合計 3 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	美野里シビック・ガーデン	部室1151-7	美野里	178.9	平成11	W造
2	美野里地域食材供給施設	部室1068	美野里	375.3	平成14	RC造
3	空のえき「そ・ら・ら」	山野1628-44	小川	2,838.0	平成26	S造
	合計			3,392.2		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 30 年未満の棟は3棟あります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式は、美野里シビック・ガーデンが指定管理方式、美野里地域食材供給施設と空のえき「そ・ら・ら」が市直営となっています。
- ・ 美野里シビック・ガーデンは、年間利用者数は 5,110 人となっています。
- ・ 空のえき「そ・ら・ら」は、茨城空港の近くに立地します。農産物直売所や物産館、レストラン等を保有します。複合型施設で、総来場者は 51 万 4,400 人、1 日平均 1,413 人来場となっています。
- ・ 美野里地域食材供給施設（みのりの森のレストラン「キャトル・セゾン」）は、地場産の食材を利用したレストランで、市が施設を貸出し運営していますが、令和2年9月より一時休業となっています。
- ・ 利用者 1 人当たりコストでは、美野里シビック・ガーデンが1,018円、美野里地域食材供給施設が123円、空のえき「そ・ら・ら」が555円となりますが、今後利用者のさらなる獲得や利用コスト削減のための工夫が必要となります。

③ 施設類型の基本方針

- 現状施設を活用するが、運営方式の見直し等についても検討する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
美野里シビック・ガーデン		長寿命化		中規模修繕	
美野里地域食材供給施設	用途変更				農村環境改善センターの一部機能移転先。教育支援センター(旧美野里地域食材供給施設)へ用途変更。
空のえき「そ・ら・ら」		中規模修繕		長寿命化	

(7) スポーツ施設

① 施設一覧

スポーツ施設として、合計 16 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	農村環境改善センタープール	中台559	美野里	110.4	昭和55	RC造
2	希望ヶ丘公園	中台418	美野里	304.1	平成5	W造
3	小川運動公園	与沢532-1	小川	1,117.8	昭和51	S造
4	小川海洋センター	野田269-1	小川	1,177.6	平成3	RC造
5	玉里海洋センター	栗又四ヶ2406-4	玉里	2,033.1	昭和63	RC造
6	小川南中学校セミナーハウス棟	小川650	小川	500.0	昭和61	RC造
7	玉里運動公園	栗又四ヶ2406-4、1	玉里	421.7	平成26	RC造
8	堅倉運動広場	堅倉949	美野里	—	平成8	—
9	納場運動広場	納場765-1	美野里	—	昭和54	—
10	羽鳥運動広場	羽鳥2029-2	美野里	—	昭和55	—
11	美野里ふれあい運動広場	中野谷501-198	美野里	—	平成16	—
12	下吉影薬師台球場	下吉影1820-1	小川	—	昭和52	—
13	中根野球場	中延1151-4	小川	—	昭和53	—
14	野田野球場	野田596-1	小川	—	昭和55	—
15	旧小川小学校(体育館)	小川1649	小川	733.0	昭和47	S造
16	旧橘小学校(体育館)	与沢729-1	小川	624.0	昭和47	S造
合計				7,021.7		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年以上の棟は 4 棟あります。

■ 利用・運営状況

- ・ 運営方式は海洋センター 2 施設が指定管理方式、その他の施設が市直営となっています。
- ・ 運動広場等を除くスポーツ施設 5 施設の年間利用者数は 13 万 4,803 人。
- ・ 施設別の利用者数は、農村環境改善センタープールが 2,427 人、希望ヶ丘公園が 2 万 2,014 人、小川運動公園が 2 万 2,198 人、小川 B&G 海洋センターが 2 万 540 人、玉里 B&G 海洋センター（玉里運動公園含む）が 6 万 7,624 人となっています。
- ・ 農村環境改善センタープールは令和 2 年度より利用中止しています。
- ・ 運動広場、野球場等 7 施設は常時開放しており、多目的広場として野球やサッカー、グラウンドゴルフ等で利用されています。

③ 施設類型の基本方針

- 小川運動公園体育館は、旧橘小体育館へ集約化する。
- 運動広場は、利用状況を明確化し、譲渡や他の施設での代用を検討する。
- その他の施設は、現状施設を活用する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
農村環境改善センタープール	解体				
希望ヶ丘公園	長寿命化		中規模修繕		
小川運動公園管理棟（旧管理棟）	解体				
小川運動公園体育館	解体				旧橘小学校体育館へ機能移転
小川運動公園多目的体育館（管理棟）	中規模修繕		長寿命化		
小川海洋センター		長寿命化		中規模修繕	
小川海洋センター多目的室		中規模修繕		長寿命化	
玉里海洋センター体育館		長寿命化		中規模修繕	
玉里運動公園多目的棟		中規模修繕		長寿命化	
小川南中学校セミナーハウス棟	解体				
旧小川小学校（体育館）	解体				生涯学習交流施設へ機能移転
旧橘小学校（体育館）		長寿命化		建替え	

(8) 保健・福祉施設、医療施設

① 施設一覧

保健・福祉施設として、合計 5 施設、医療施設として 1 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・ 併設機能
1	四季健康館	部室1106	美野里	2,868.8	平成7	RC造	出張所
2	小川保健相談センター	小川2-1	小川	1,114.0	平成3	RC造	
3	玉里保健福祉センター	上玉里1122	玉里	1,383.0	昭和55	RC造	
4	玉里ふれあいサロン			521.0	平成12	RC造	
5	小美玉温泉ことぶき	上吉影58-1	小川	1,150.5	平成24	S造	
6	国民健康保険白河診療所	飯前589-3	小川	314.5	昭和42	RC造	
	合計			7,351.7			

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年以上の棟は 2 棟あります。

■ 利用・運営状況

(保健・福祉施設)

- ・ 運営方式は、指定管理方式となっています。
- ・ 総利用者数は18万5,381人。
- ・ 施設別の利用者数は、四季健康館が7万3,937人、小川保健相談センターが8,158人、玉里保健福祉センターが1万3,695人、玉里ふれあいサロンが2,194人、小美玉温泉ことぶきの部屋別利用者が8万7,397人となっています。
- ・ 1日当たりの利用者数は、小川保健相談センターが33人、玉里保健福祉センターが56人、四季健康館が240人、小美玉温泉ことぶきが290人となっており、入浴設備を保有する2施設の利用が多くなっています。一方で、入浴施設設備の老朽化など設備更新の負担が懸念されています。
- ・ 保健センター機能を保有する施設が市内に3施設設置されていることから、施設の更新時期に今後のあり方を検討する必要があります。

(医療施設)

- ・ 白河診療所は、施設の老朽化が進行しており、さらに耐震診断も未実施の施設であるため、今後も使用するためには耐震安全性確保が必要となります。
- ・ 周辺状況として令和2年度末には小美玉市医療センターの新病院がグランド・オープンする予定です。

③ 施設類型の基本方針

- 保健センターは、庁舎の統合とあわせて、将来的には1か所に集約化する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
四季健康館		長寿命化		解体	庁舎の統合とあわせて 1 か所に集約化
小川保健相談センター		長寿命化		解体	庁舎の統合とあわせて 1 か所に集約化
玉里保健福祉センター	長寿命化			解体	庁舎の統合とあわせて 1 か所に集約化
（新）保健センター				新設	
玉里ふれあいサロン	長寿命化			解体	
小美玉温泉ことぶき		中規模修繕		長寿命化	
国民健康保険白河診療所	解体				小美玉市医療センターに機能集約

(9) 図書館

① 施設一覧

市民の教養、研究・調査に資しているため図書館および図書室として、合計 4 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設機能		
1	美野里公民館図書室	堅倉835	美野里	92.0	昭和55	RC造		公民館	
2	羽鳥ふれあいセンター図書室	羽鳥2663-70	美野里	32.2	平成2	S造	出張所	集会施設	
3	玉里図書館	高崎291-3	玉里	790.3	平成6	RC造	ホール	公民館	史料館
4	小川図書館	小川1664-2	小川	867.4	平成3	RC造			資料館
	合計			1,781.9					

※ 4 施設とも、図書館等分面積を記載

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 30 年以上の棟は 2 棟ある。
- ・ 美野里公民館図書室は、旧耐震基準の建物であり、耐震診断が未実施のため、今後も使用する場合は、早急に耐震診断を行う必要があります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 直近 3 年間の貸出点数をみると、13 万 6,036 点から 14 万 255 点と微増傾向で推移しています。
- ・ 貸出者数の推移は、3 万 2,111 人から 3 万 2,995 人と、微増傾向で推移しています。
- ・ 蔵書数は、4 施設合計で約 15.9 万点で、施設別では羽鳥ふれあいセンターの 4,977 点から小川図書館の 8 万 1,313 点となっています。
- ・ 1 日当たり貸出者数は、羽鳥ふれあいセンターの 6 人から小川図書館の 68 人となっています。
- ・ 貸出者 1 人当たりコストは、羽鳥ふれあいセンター図書室の 473 円から玉里図書館の 4,058 円と割高な施設もあります。

③ 施設類型の基本方針

- 複合施設の方向性に準拠する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
美野里公民館図書室	解体				（仮称）羽鳥駅東口複合施設へ機能移転
羽鳥ふれあい センター図書室	解体				【その他集会施設】 羽鳥ふれあいセンターの方向性に準拠する
玉里図書館		長寿命化		売却/貸付	【文化ホール】 生涯学習センター（玉里文化ホール）の方向性に準拠する
小川図書館	長寿命化		中規模修繕		

(10) 公民館

① 対象施設一覧

公民館として、公民館を 3 施設、生涯学習センター（玉里公民館）を 1 施設の合計 4 施設保有しています。

図表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設機能		
1	美野里公民館	堅倉835	美野里	1,189.3	昭和55	RC造		図書室	
2	羽鳥公民館	羽鳥901-1	美野里	654.8	昭和53	S造			
3	小川公民館	小川1661-1	小川	1,268.4	昭和47	RC造			
4	生涯学習センター（玉里公民館）	高崎291-3	玉里	688.6	平成6	RC造	ホール	図書館	史料館
合計				3,801.1					

※ 美野里公民館、生涯学習センター（玉里公民館）は、公民館分面積を記載

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年以上の棟は 3 棟あります。
- ・ 美野里公民館、羽鳥公民館、小川公民館は、旧耐震基準の建物であり、耐震診断が未実施のため、今後も使用する場合は、早急に耐震診断を行う必要があります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 公民館 4 施設の利用件数は年間 5,339 件、利用者数は 7 万 3,929 人。
- ・ 羽鳥公民館の 7,991 人から生涯学習センター（玉里公民館）の 3 万 971 人となっています。
- ・ 直近 3 年間の利用件数をみると、5,709 件から 5,339 件と横ばいで推移しています。
- ・ 美野里公民館、小川公民館の利用者 1 人当たりにかかるコスト、利用 1 件当たりにかかるコストは他の 2 施設の約 2 倍となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 耐震診断未実施施設は、他の施設と集約化・複合化する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
美野里公民館	解体				堅倉小学校へ機能移転
羽鳥公民館	解体				（仮称）羽鳥駅東口複合施設へ機能移転
小川公民館	解体				生涯学習交流施設へ機能移転※
生涯学習センター （玉里公民館）		長寿命化		売却/貸付	【文化ホール】 生涯学習センター（玉里文化ホール）の方向性 に準拠する

※生涯学習講座は、やすらぎの里小川で継続実施

(11) 地区公民館

① 施設一覧

各行政区内における社会教育及び文化活動の拠点として、また、区内住民の連帯並びにコミュニティの醸成の場として、各行政区内に地区公民館（農村集落センター、コミュニティセンター、集会所等を含む）合計 128 施設保有しています。

② 現状と課題

■ 利用・運営状況

- ・ 運営方式は、各行政区での自主管理となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 防衛補助対象外の「地区公民館」は、各行政区へ譲渡する。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	行政区名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	設置者
1	本田町公民館	小川184	本田町	219.4	平成3	W造	小美玉市
2	中田宿公民館	小川895	中田宿	117.6	昭和63	W造	小美玉市
3	大町公民館	小川1521	大町	127.0	昭和52	W造	大町区
4	川岸公民館	小川1380-2	川岸	134.2	平成30	W造	川岸区
5	横町公民館	中延2268-15	横町	118.0	昭和62増築	W造	横町区
6	橋向公民館	小川1760-14	橋向	139.9	平成元	W造	小美玉市
7	坂上公民館	小川1698-2	坂上	165.6	平成16	W造	小美玉市
8	坂下公民館	小川1437-1	坂下	119.2	平成13	W造	小美玉市
9	二本松公民館	中延666-3中延666-7	二本松	116.3	昭和51年	W造	小美玉市
10	下馬場公民館	下馬場317	下馬場	81.6	平成30	鉄骨軸組構造	下馬場区
11	小塙公民館	下馬場261	小塙	119.4	平成2	W造	小美玉市
12	立延公民館	中延432	立延	132.5	平成17	W造	小美玉市
13	中根公民館	中延1311	中根	121.0	昭和58増築	W造	中根区
14	下田一ふるさとコミュニティセンター	中延1968	下田(一)	177.0	平成11改築	W造	下田(一)区
15	下田(二)公民館	中延2260-367	下田(二)	107.0	昭和59増築	W造	下田(二)区
16	宮田地区新農村集落センター	宮田257	宮田	165.6	平成8改築	W造	宮田区
17	幡谷公民館	幡谷306-1	幡谷	115.9	平成22	W造	小美玉市
18	川戸公民館	川戸446	川戸	130.0	昭和61増築	W造	川戸区
19	稲荷坪公民館	野田246-5	稲荷坪	171.4	平成2	W造	小美玉市
20	野田本田公民館	野田556	野田本田	112.6	平成3	W造	小美玉市
21	新林ふるさとコミュニティセンター	野田994	新林	136.6	平成10改築	W造	新林区
22	野田古新田公民館	野田883-3	野田古新田	106.0	昭和63	W造	小美玉市
23	隠谷公民館	野田36-3	隠谷	202.9	平成元	W造	小美玉市
24	鷺沼新農村集落センター	野田1363-1	鷺沼	205.4	平成5改築	W造	鷺沼区
25	伏沼地区会ふるさとコミュニティセンター	野田1475-117	伏沼	209.5	平成14	S造	伏沼区
26	山川ふるさとコミュニティセンター	川戸1352-31	山川	221.9	平成12	S造	山川区
27	世楽地区コミュニティセンター	世楽308	世楽	197.1	平成9改築	W造	世楽区
28	佐才地区コミュニティセンター	佐才141-2	佐才	198.7	平成15	W造	佐才区
29	上吉影公民館	上吉影240-1	上吉影	165.6	平成23	W造	小美玉市
30	前原公民館	飯前511-2	前原	132.5	平成20	W造	小美玉市
31	飯前公民館	飯前989-1	飯前	180.5	平成26	W造	小美玉市
32	上合前野集会所	上合212	上合	39.7	平成2	W造	小美玉市
33	上合公民館	上合170-5	上合	140.8	平成24	W造	小美玉市
34	前野公民館	上合1100-2	前野	152.1	平成21	W造	小美玉市
35	宿地区公民館	下吉影1404-1	下吉影宿	148.4	平成27	W造	小美玉市
36	荒地公民館	下吉影633-1	荒地	115.9	平成24	W造	小美玉市
37	下吉影本田公民館	下吉影1343-3	下吉影本田	135.8	平成23	W造	小美玉市
38	貝谷公民館	下吉影50-1	貝谷	142.4	平成24	W造	小美玉市

NO	名称	所在地	行政区名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	設置者
39	南原公民館	下吉影2034-6	南原	98.5	平成21	W造	小美玉市
40	下吉影古新田公民館	下吉影2294-1	下吉影古新田	115.4	平成22	W造	小美玉市
41	百里自営公民館	上合1453-3	百里自営	99.4	平成21	W造	小美玉市
42	百里開拓公民館	百里253-1, 253-9	百里開拓	52.2	平成27	W造	小美玉市
43	羽木上地区新農村集落センター	山野41-1	羽木上	167.3	平成7改築	W造	羽木上区
44	下与沢公民館	与沢119-1	与沢	58.0	昭和51	W造	与沢区
45	与沢地区公民館	与沢729-5の一部, 729-8	与沢	198.7	平成28	W造	小美玉市
46	外之内公民館	外之内329-1	外之内	165.6	平成20	W造	小美玉市
47	倉数川前公民館	倉数1273	倉数川前	172.2	平成26	W造	小美玉市
48	倉数川向公民館	倉数855-1	倉数川向	197.9	平成26	W造	小美玉市
49	倉数原公民館	倉数603-26	倉数川向	85.8	昭和59	W造	小美玉市
50	与沢百里公民館	与沢2106	与沢百里	152.3	平成20	W造	小美玉市
51	清水頭新農村集落センター	山野1685-8の一部	清水頭	155.3	平成6	W造	清水頭区
52	山野公民館	山野967-6	山野	132.5	平成24	W造	小美玉市
53	山野台公民館	川戸985-44	山野	63.8	平成3	W造	小美玉市
54	田中台公民館	幡谷208-1	田中台	198.7	平成24	W造	小美玉市
55	小川ニュータウン公民館	山野354-5	小川ニュータウン	176.4	平成27	W造	小美玉市
56	堅倉農村集落センター	堅倉993	堅倉	294.8	昭和57	W造	堅倉区
57	大曲公民館	部室1203-40	大曲	176.6	昭和53	W造	大曲区
58	仲丸農村集落センター	堅倉1946-1	仲丸	144.1	平成8	W造	仲丸区
59	西明地公民館	堅倉1562-4	西明地	56.3	昭和52	W造	西明地区
60	小岩戸農村集落センター	小岩戸1271	小岩戸	245.5	平成2	W造	小岩戸区
61	上小岩ふるさとコミュニティセンター	小岩戸410	上小岩戸	207.9	平成14	W造	上小岩戸区
62	西郷地公民館	西郷地882-1	西郷地	139.1	昭和53	W造	西郷地区
63	柴高田園都市センター	柴高720	柴高	410.4	昭和55	W造	柴高区
64	上鶴田公民館	鶴田979	上鶴田	64.6	昭和51	W造	上鶴田区
65	下鶴田コミュニティセンター	鶴田307-1	下鶴田	178.9	平成19改築	W造	下鶴田区
66	長砂公民館	三箇1202-1	長砂	76.0	平成21改築	W造	長砂区
67	三箇公民館	三箇480	三箇	105.6	昭和56	W造	三箇区
68	先後新農村集落センター	先後523	先後	219.4	平成6	W造	先後区
69	橋場美ふるさとコミュニティセンター	橋場美301-1	橋場美	198.7	平成12	W造	橋場美区
70	清風台公民館	西郷地1345-70	清風台	186.7	平成11	W造	清風台区
71	張星農村集落センター	張星3-4	張星	171.4	平成4	W造	張星区
72	部室ふるさとコミュニティセンター	部室1162-3	部室	259.6	平成11	W造	部室区
73	納場公民館	納場585-1	納場	127.0	平成3	W造	納場区
74	江戸公民館	江戸491	江戸	132.5	平成51	W造	江戸区
75	江戸住宅コミュニティセンター	江戸90-162	江戸住宅	296.4	平成8	W造	江戸住宅区
76	羽刈集落改善センター	羽刈49-2	羽刈	163.7	平成29	W造	羽刈区
77	五万堀農村集落センター	羽刈659-42	五万堀	197.5	平成4	W造	五万堀区
78	北浦公民館	羽刈240-2	北浦	287.4	平成19改築	W造	北浦区
79	高田公民館	高田200-1	高田	105.6	昭和52	W造	高田区
80	手堤農村集落センター	手堤41-3	手堤	167.8	平成7	W造	手堤区
81	大笹区民センター	大笹218-2	大笹	109.0	昭和54	W造	大笹区
82	寺崎農村集落センター	寺崎534-1	寺崎	170.6	平成30	W造	寺崎区
83	竹原上町公民館	竹原2059-1	竹原	129.5	平成5	W造	竹原上町区
84	竹原裏町公民館	竹原2242	竹原	52.7	昭和53	W造	竹原裏町区
85	大正地公民館	竹原553-1	竹原	59.5	昭和56	W造	大正地区
86	竹原仲町生活改善センター	竹原144-2	竹原	76.9	昭和57	W造	竹原仲町区
87	竹原坂下農村集落センター	大谷508-9	竹原	230.2	昭和63	W造	竹原坂下区
88	竹原横町新農村集落センター	竹原2267	竹原	141.9	平成6	W造	竹原横町区
89	竹原下郷農村集落センター	竹原下郷208-3	竹原下郷	201.6	平成3	W造	竹原下郷区
90	中野谷公民館	中野谷373	中野谷	148.5	昭和48	W造	中野谷区
91	上馬場農村集落センター	上馬場480-3	上馬場	148.5	平成2	W造	上馬場区
92	竹原中郷公民館	竹原中郷808-2	竹原中郷	262.3	昭和54	W造	小美玉市
93	小曾納新農村集落センター	小曾納220	小曾納	219.9	平成8	W造	小曾納区
94	花野井公民館	花野井221-2	花野井	94.4	昭和46	W造	花野井区
95	中台公民館	中台85	中台	79.2	昭和42	W造	中台区
96	希望ヶ丘区公民館	中台589-69	希望ヶ丘	218.8	平成13	W造	希望ヶ丘区
97	大谷地区公民館	大谷717-1	大谷	128.2	令和元	W造	大谷区
98	金谷久保公民館	羽鳥1259-2	金谷久保	104.0	昭和62	W造	金谷久保区
99	十二所公民館	羽鳥1683-79	十二所	200.4	平成13	W造	十二所区
100	高場区生活改善センター	羽鳥1923-2	高場	118.0	昭和53	W造	高場区
101	脇山公民館	羽鳥2352-937	脇山	129.4	平成2	W造	脇山区
102	花館公民館	羽鳥2274-10	花館	155.7	平成28	W造	花館区
103	旭区コミュニティセンター	羽鳥2738-75	旭	264.2	平成3	W造	旭区
104	羽刈前生活改善センター	羽鳥2738-357	羽刈前	112.6	平成25改築	W造	羽刈前区
105	中峰ふるさとコミュニティセンター	花野井527-2	中峰	168.9	平成12	W造	中峰区

NO	名称	所在地	行政区名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	設置者
106	羽鳥東区集会所	羽鳥2719-117	羽鳥東	149.1	平成27	W造	羽鳥東区
107	火の橋農村集落センター	川中子211-1	川中子	113.8	昭和63	W造	火の橋地区
108	川中子会館	川中子1321-1	川中子	62.5	昭和48	W造	川中子地区
109	富士峰集会所	高崎1824-16	上高崎	98.0	平成8	W造	富士峰地区
110	高崎集落センター	高崎884-1	下高崎	306.8	昭和58	W造	高崎地区
111	中台地区集落センター	上玉里22-2	玉里中台	130.0	平成7	W造	中台地区
112	部室松山集会所	上玉里885-1	松山	77.8	昭和34	W造	松山地区
113	第2東宝ランド集会所	田木谷1012-78	第二東宝	94.0	昭和49	W造	第2東宝ランド地区
114	金塚地区公民館	上玉里1547-3	大宮	94.0	平成16	W造	金塚地区
115	亀塚集会所	上玉里1753-1	大宮	45.5	平成12	W造	外山・亀塚地区
116	塙集会所	上玉里1220	大宮	60.9	平成13	RC造	塙地区
117	鳥居下集会所	田木谷257-1	田木谷駅前	85.7	平成16改築	W造	駅前田木谷地区
118	田木谷公民館	田木谷577-1	田木谷	108.9	平成17	W造	田木谷地区
119	新田木谷地区コミュニティセンター	田木谷935-53	新田木谷	118.4	平成6	W造	小美玉市
120	辻農村集落センター	栗又四ヶ155-1	栗又四ヶ	126.6	平成9	W造	辻地区
121	沼田公会堂	栗又四ヶ1438-1	栗又四ヶ	72.0	平成15改築	W造	沼田地区
122	上郷会館	栗又四ヶ1933-1	栗又四ヶ	63.8	平成14改築	W造	上郷地区
123	みどりの集会所	栗又四ヶ2104-16	みどり野	50.3	昭和55	W造	木ノ内みどり野地区
124	第3東宝栗又集会所	栗又四ヶ2355-1	第三東宝	159.0	平成5	W造	第3東宝ランド地区
125	第一玉里団地集会所	栗又四ヶ2431-3	玉里団地	140.9	昭和60	W造	第一玉里団地地区
126	新高浜会館	栗又四ヶ2570-35	新高浜第一	123.8	平成9	W造	新高浜・中道地区
127	逆井公民館	栗又四ヶ2530-64	新高浜第二	110.0	平成4	W造	逆井地区
128	あけぼの団地公民館	栗又四ヶ2485-2	新高浜第二	90.6	昭和53	W造	あけぼの団地地区
				18,633.7			

④ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
本田町公民館		譲渡			
中田宿公民館		譲渡			
橋向公民館		譲渡			
坂上公民館		譲渡			
坂下公民館		譲渡			
二本松公民館		譲渡			
小塙公民館		譲渡			
立延公民館		譲渡			
幡谷公民館	●			●	行政区の申請に基づき改修等を実施
稲荷坪公民館		譲渡			
野田本田公民館		譲渡			
野田古新田公民館		譲渡			
隠谷公民館		譲渡			

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
上吉影公民館	●			●	行政区の申請に基づき改修等を実施
前原公民館	●			●	
飯前公民館	●			●	
上合前野集会所	●			●	
上合地区公民館	●			●	
前野公民館	●			●	
宿地区公民館	●			●	
荒地公民館	●			●	
下吉影本田公民館	●			●	
貝谷公民館	●			●	
南原公民館	●			●	
下吉影古新田公民館	●			●	
百里自営公民館	●			●	
百里開拓公民館	●			●	
与沢地区公民館	●			●	
外之内公民館	●			●	
倉数川前公民館	●			●	
倉数川向公民館	●			●	
倉数原集会所	●			●	
与沢百里公民館	●			●	
山野公民館	●			●	
山野台公民館	●			●	
田中台公民館	●			●	
小川ニュータウン 公民館	●			●	
竹原中郷地区公民館		譲渡			
新田木谷地区 コミュニティセンター		譲渡			

(12) 小学校・中学校

① 施設一覧

小学校 11 校、中学校 4 校の合計 15 校の学校施設を保有しています。

表 施設一覧

令和 2 年 5 月 1 日現在

	名称	所在地	地域	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
							普通 学級	特別 支援	普通 学級	特別 支援
小 学 校	1 野田小学校	野田70	小川	16,019	2,975	昭和43	178	10	6	2
	2 上吉影小学校	飯前1376-16	小川	20,208	2,755	昭和41	110	6	6	1
	3 下吉影小学校	下吉影1763-4	小川	24,454	4,653	平成14	51	3	5	1
	4 小川南小学校	小川686-1	小川	47,154	7,624	平成30	410	38	15	7
	5 竹原小学校	竹原571	美野里	20,020	4,813	平成26	186	10	6	2
	6 羽鳥小学校	羽鳥932	美野里	18,022	4,140	昭和43	451	30	15	5
	7 堅倉小学校	堅倉1698-6	美野里	25,888	4,931	平成23	267	18	11	4
	8 納場小学校	納場444	美野里	19,253	4,723	昭和51	241	14	11	4
	9 玉里小学校	上玉里1039	玉里	12,375	3,219	昭和53	182	17	6	3
	10 玉里北小学校	栗又四ヶ986	玉里	12,887	3,086	昭和54	113	10	6	2
	11 玉里東小学校	下玉里457	玉里	10,248	2,338	昭和50	34	3	3	2
小学校11校 計				226,528	45,257		2,223	159	90	33
中 学 校	1 小川南中学校	小川650	小川	52,547	8,127	昭和60	245	11	8	2
	2 小川北中学校	川戸1347-1	小川	48,120	6,302	平成24	207	6	7	2
	3 美野里中学校	部室1196-3	美野里	51,622	9,092	昭和45	698	26	21	4
	4 玉里中学校	上玉里751-1	玉里	32,558	4,455	昭和54	151	8	5	2
中学校4校 計				184,847	27,976		1,301	51	41	10
学校施設15校 合計				411,375	73,233		3,524	210	131	43

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記載。

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 小学校は、築 30 年以上の学校が 11 校中 7 校で、そのうち 3 校が築 50 年以上経過しています。
- ・ 中学校は、築 30 年以上の学校が 4 校中 3 校で、そのうち 2 校が築 40 年以上経過しています。

■ 利用・運営状況

- ・ 昭和 61 年 6,972 人をピークに、令和 2 度は 3,734 人でピーク時の約 54%となっています。今後も減少が続き、令和 7 年度では 3,594 人（-4%）、ピーク時の 52%まで減少する予測となっています。
- ・ 令和 3 年 4 月に玉里学園義務教育学校、令和 4 年 4 月に小川北義務教育学校が開校予定。

③ 施設類型の基本方針

- 義務教育学校整備後、廃校後の学校は原則「除却」の方向性で検討を進める。
- 美野里地区の小学校は、児童数の動向をみながら他の施設と複合化し、地域の拠点施設とする。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
野田小学校 校舎-1	解体				小川北義務教育学校に統合
野田小学校 校舎-2	解体				小川北義務教育学校に統合
野田小学校 校舎-3	解体				小川北義務教育学校に統合
野田小学校 体育館	解体				小川北義務教育学校に統合
上吉影小学校 校舎-1	解体				小川北義務教育学校に統合
上吉影小学校 校舎-2	解体				小川北義務教育学校に統合
上吉影小学校 体育館	解体				小川北義務教育学校に統合
下吉影小学校 校舎-1	売却/貸付				小川北義務教育学校に統合
下吉影小学校 体育館	売却/貸付				小川北義務教育学校に統合
小川北中学校 校舎-1	中規模修繕		長寿命化		
小川北中学校 体育館			長寿命化		
小川北義務教育学校 校舎	新設		中規模修繕		令和4年4月開校
小川南小学校 校舎-1		中規模修繕		長寿命化	
小川南小学校 体育館		長寿命化		中規模修繕	
小川南中学校 校舎-1		中規模修繕			
小川南中学校 体育館		中規模修繕			
竹原小学校 校舎-1	中規模修繕		長寿命化		ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化を検討する。
竹原小学校 体育館	長寿命化		中規模修繕		
羽鳥小学校 校舎-1	長寿命化			解体	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化を検討する。
羽鳥小学校 校舎-2	長寿命化			解体	
羽鳥小学校 体育館	長寿命化			解体	
堅倉小学校 校舎-1		中規模修繕		長寿命化	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化を検討する。
堅倉小学校 体育館		中規模修繕		長寿命化	

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
納場小学校 校舎-1	長寿命化			解体	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化を検討する。
納場小学校 校舎-2	長寿命化			解体	
納場小学校 校舎-3	長寿命化			解体	
納場小学校 体育館	長寿命化			解体	
羽鳥・納場統合小学校 校舎				新設	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化を検討する。
羽鳥・納場統合小学校 体育館				新設	
美野里中学校 校舎-1		建替え		中規模修繕	
美野里中学校 校舎-2		中規模修繕		建替え	
美野里中学校 校舎-3		長寿命化		中規模修繕	
美野里中学校 体育館	長寿命化		中規模修繕		
美野里中学校 武道場		中規模修繕		建替え	
玉里小学校 校舎-1	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里小学校 体育館		長寿命化		建替え	玉里学園義務教育学校で利用
玉里北小学校 校舎-1	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里北小学校 校舎-2	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里北小学校 体育館	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里東小学校 校舎-1	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里東小学校 校舎-2	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里東小学校 体育館	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里中学校 校舎-1	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里中学校 校舎-2	解体				玉里学園義務教育学校に統合
玉里中学校 体育館		長寿命化		中規模修繕	玉里学園義務教育学校で利用
玉里学園義務教育学校 校舎			中規模修繕		令和3年4月開校

(13) 放課後子どもプラン

① 施設一覧

放課後子どもプランとして、合計 10 施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	設置 場所
1	野田小放課後子どもプラン(旧野田幼稚園)	野田70	小川	422.0	昭和45	RC造	敷地内
2	上吉影小放課後子どもプラン(旧吉影幼稚園)	飯前1376-16	小川	302.0	昭和44	RC造	敷地内
3	下吉影小放課後子どもプラン	下吉影1763-4	小川				校舎内
4	小川南小放課後子どもプラン	小川686-1	小川				校舎内
5	竹原小放課後子どもプラン	竹原571	美野里	104.8	平成21	S造	隣接敷地
6	羽鳥小放課後子どもプラン	羽鳥1373-1	美野里	161.0	平成26	W造	敷地内
7	堅倉小放課後子どもプラン	堅倉1698-6	美野里				校舎内
8	納場小放課後子どもプラン	納場444	美野里				校舎内
9	玉里・玉里東小放課後子どもプラン	上玉里1039	玉里	84.0	平成12	S造	敷地内
10	玉里北小放課後子どもプラン	栗又四ヶ986	玉里	98.7	平成14	S造	敷地内
	合計			1,172.5			

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年以上の棟は 2 棟あります。

■ 利用・運営状況

- ・ 運営方式は、令和元年 10 月より一部民間委託となっています。
- ・ 放課後子どもプラン10施設の登録児童数は365人。
- ・ 施設別の利用者数は、野田小放課後子どもプランが 60 人、上吉影小放課後子どもプランが 40 人、下吉影小放課後子どもプランが 30 人、竹原小放課後子どもプランが 40 人、羽鳥小放課後子どもプランが 50 人、堅倉小放課後子どもプランが 50 人、納場小放課後子どもプランが 35 人、玉里・玉里東小放課後子どもプランが 30 人、玉里北小放課後子どもプランが 30 人となっています。
- ・ 利用者数の推移は、365 人と変わらず、横ばい傾向で推移しています。

③ 施設類型の基本方針

- 小学校にあわせて、整備する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
野田小放課後子どもプラン(旧野田幼稚園)	解体				令和4年4月小川北義務教育学校開校に伴い集約化
上吉影小放課後子どもプラン(旧吉影幼稚園)	解体				令和4年4月小川北義務教育学校開校に伴い集約化
下吉影小放課後子どもプラン	売却/貸付				令和4年4月小川北義務教育学校開校に伴い集約化
小川北学区放課後子どもプラン	新設				令和4年4月小川北義務教育学校開校にあわせて整備
小川南小放課後子どもプラン		中規模修繕		長寿命化	
竹原小放課後子どもプラン	解体				令和3年4月より竹原幼稚園園舎を利用
羽鳥小放課後子どもプラン		中規模修繕		解体	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化と併せ検討する。
堅倉小放課後子どもプラン		中規模修繕		長寿命化	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化と併せ検討する。
納場小放課後子どもプラン	長寿命化			解体	ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化と併せ検討する。
玉里・玉里東小放課後子どもプラン	解体				令和3年4月玉里学園義務教育学校開校に伴い民間委託
玉里北小放課後子どもプラン	解体				令和3年4月玉里学園義務教育学校開校に伴い民間委託

(14) 幼稚園

① 施設一覧

幼稚園として、合計6施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	
1	納場幼稚園	納場444	美野里	209.0	昭和49	S造	
2	堅倉幼稚園	堅倉1278-2	美野里	536.0	昭和55	S造	
3	竹原幼稚園	竹原585	美野里	390.0	昭和54	S造	(休園)
4	羽鳥幼稚園	羽鳥637	美野里	461.0	昭和47	S造	
5	元気っ子幼稚園	小川234-1	小川	2,357.0	平成20	RC造	
6	玉里幼稚園	上玉里2956-3	玉里	1,300.0	昭和57	RC造	
	合計			5,253.0			

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上の棟は5棟あります。

■ 利用・運営状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 幼稚園の施設別の定員数と園児数は、全施設で定員を下回っており、入園率は、納場幼稚園の20%から羽鳥幼稚園の43%といずれも低い入園率となっています。
- ・ 直近3年間の園児数をみると、255人から210人と微減傾向で推移しています。

③ 施設類型の基本方針

- 美野里地区の幼稚園は、竹原小学校内へ統合・集約化する。
- 玉里幼稚園は、将来的に元気っ子幼稚園に統合・集約化する。

④ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
納場幼稚園	中規模修繕			建替え	令和3年4月よつば幼稚園開園に伴い集約化 農村女性の家の機能移転
堅倉幼稚園	解体				令和3年4月よつば幼稚園開園に伴い集約化
竹原幼稚園		中規模修繕		建替え	令和3年4月よりよつば幼稚園開園に伴い集約化、放課後子どもプランで利用。ただし、美野里地区全域の児童数の推移等を考慮し、学校規模配置適正化と併せ検討する。
羽鳥幼稚園	解体				令和3年4月よつば幼稚園開園に伴い集約化
元気っ子幼稚園	中規模修繕		長寿命化		
玉里幼稚園	解体				元気っ子幼稚園へ集約化

(15) 給食センター

① 施設一覧

本市では、給食センター機能を2施設設置しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	小美玉学校給食センター	野田1475-127	小川	3,095.0	平成22	S造
2	玉里学校給食センター	上玉里2956-2	玉里	604.0	昭和61	S造
	合計			3,699.0		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上の棟は1棟あります。

■ 利用・運営・コスト状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 令和3年度中に調理業務については民間委託する予定となっています。

③ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
小美玉学校給食センター		中規模修繕		長寿命化	
玉里学校給食センター	用途変更/ 中規模修繕		解体		令和3年4月小美玉学校給食センターに統合 令和7年度から玉里防災倉庫に用途変更

(16) 公営住宅

① 施設一覧

住宅に困窮している市民に対して、安定した住居を供するため公営住宅として、合計7施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	管理 戸数
1	ハトリ第2団地	羽鳥2909-5	美野里	5,213.9	昭和58	PC造	72
2	大塚団地	小川19	小川	1,345.0	昭和61	PC造	20
3	大黒団地	小川89	小川	1,777.7	平成3	PC造	24
4	雷神前住宅	小川609	小川	1,168.0	昭和60	PC造	20
5	山川住宅	川戸1352	小川	1,435.3	昭和41	PC造	44
6	下田住宅	中延1170-2	小川	1,095.0	昭和45	PC造	29
7	上吉影住宅	飯前247	小川	965.0	昭和51	PC造	20
	合計			12,999.8			229

※PC造：プレキャストコンクリート造

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上の棟は6棟あります。

■ 利用・運営状況

- ・ 運営方式は市直営となっています。
- ・ 入居率は、上吉影住宅の50%からハトリ第2団地の86%となっています。
- ・ 雷神前住宅、山川住宅、下田住宅、上吉影住宅については、現在募集中止となっています。

③ 施設類型の基本方針

- 策定済みの長寿命化計画の方向性に準拠する。

④ 個別施設ごとの 40 年間（2060（令和 42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
ハトリ第 2 団地		建替え		中規模修繕	規模縮小
大塚団地		長寿命化		解体	
大黒団地	長寿命化		解体		
雷神前住宅		解体			
山川住宅		解体			
下田住宅	解体				
上吉影住宅	解体				

(17) その他

① 施設一覧

本市では、その他施設を3施設設置しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	管財倉庫	堅倉1618	美野里	330.0	平成28	W造
2	防災倉庫	堅倉878-1	美野里	348.0	平成25	S造
3	玉里商工会館	上玉里1122	玉里	266.7	平成4	S造
	合計			944.7		

② 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
管財倉庫		中規模修繕		長寿命化	
防災倉庫		中規模修繕		長寿命化	
玉里商工会館	譲渡				
玉里防災倉庫	用途変更/ 中規模修繕		解体		令和7年度から玉里防災倉庫に用途変更

(18) 閉校・廃止施設

① 施設一覧

本市では、閉校・廃止施設を6施設保有しています。

表 施設一覧

NO	名称	所在地	地域	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)
1	旧小川小学校	小川1649	小川	3,475.0	昭和44	RC造
2	旧小川幼稚園	小川1661-5	小川	514.0	昭和47	RC造
3	旧橘小学校	与沢729-1	小川	2,501.0	昭和34	RC造
4	旧橘幼稚園	与沢729-1	小川	378.0	昭和42	RC造
5	旧下吉影幼稚園	下吉影642	小川	263.0	昭和44	RC造
6	旧防衛協会茨城出張所	小川1661-3	小川	143.6	昭和43	CB造
	合計			7,274.6		

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は6棟あります。

③ 個別施設ごとの40年間（2060（令和42）年度まで）の方向性

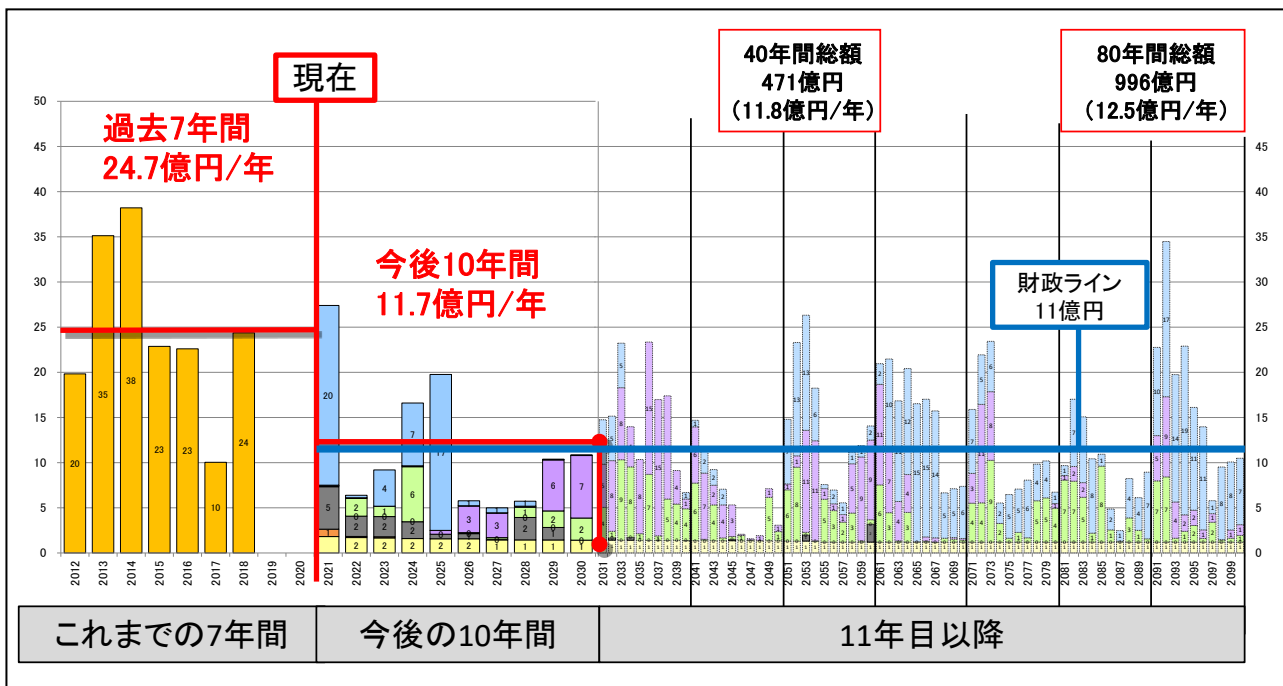
施設名	年次計画				備考
	2021～2030	2031～2040	2041～2050	2051～2060	
旧小川小学校	解体				
旧小川幼稚園	解体				
旧橘小学校	解体				
旧橘幼稚園	解体				
旧下吉影幼稚園	解体				
旧防衛協会茨城出張所	解体				

3. 長期の整備費用＜「総合管理計画 改訂版」より抜粋＞

施設類型別の改善の方向性に基づき、機能移転や複合・集約化等を順次実施し、維持する施設については適切な更新を行った場合の更新費用を算出しました。

段階的に再編を実施することで、最終的には、面積は約 12.2 万㎡、現状から約 5.2 万㎡削減される計画となっています。それに伴う更新費用は、40 年間で 471 億円・年平均 11.8 億円、10 年間では年平均 11.7 億円、80 年間では 996 億円・年平均 12.5 億円となり、現状の保有面積を維持しつづけた場合と比較して、80 年間では約 33%のコスト削減となります。

図表 公共施設総量圧縮した場合のコストシミュレーション



第4章

計画の継続的運用方針

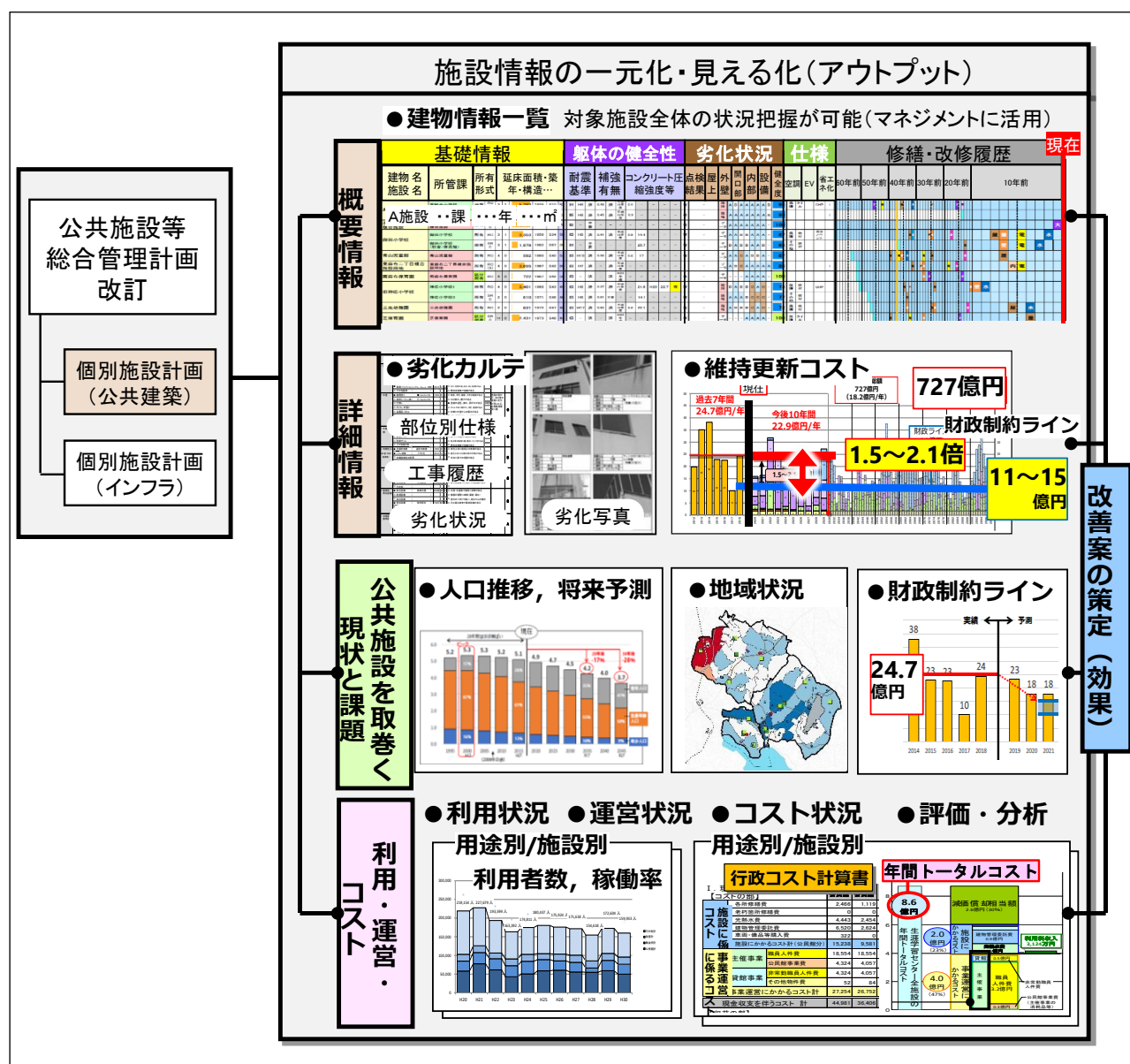
第4章 計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

「公共施設等総合管理計画」と連動して、PDCAサイクルを着実に実行していくためには、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積、評価・検証のためのシミュレーション、公共施設再編の改善案の検討を継続的に実行していくことが重要となります。

そのためのツールとして、施設の基本情報である「建物情報一覧表」を活用して、修繕・改修履歴を最新の状態にし、基準にマクロで管理する部分と詳細に把握する部分を関連付け、全体計画と実行計画の実績を相互に連動する仕組みを構築して、庁内横断的に活用可能な継続的マネジメントサイクルの基盤とし、早期の対応が迫られている具体的な再編計画の実現へ展開します。

図表 情報の一元化イメージ図



2. 推進体制等の整備

本計画は、「公共施設等管理計画」を受けて各施設の個別事業を明らかにするものであり、施設運営や施設で行われている事業、周辺の公共施設の状況・計画、さらには立地適正化計画等などとも密接な関係をもった計画です。そのため、担当所管課から出てくる事業を全庁で整合性をチェックし、無駄のない整備に向けて確実な進捗管理を行う必要があります。総合管理計画で設定した計画的な進捗管理を行う体制である「小美玉市公共施設等総合管理計画推進本部」において、全庁的な取組として推進します。

3. フォローアップ

本計画は、老朽化の進む施設の長寿命化とともに少子高齢化や将来のまちづくりと連動した施設の再編など、具体的な計画を示すものです。今後は個別の年次計画や事業費を精査していくために、事業の進捗状況、劣化調査等の結果を反映しながら、本計画の進捗状況や社会的要請、ニーズの変化に応じて適宜フォローアップを行い、その結果を踏まえ、5年ごとに計画の見直しを行います。

小美玉市公共施設建築物系個別施設計画

発行日：令和 3 年 3 月

発行：小美玉市

編集：小美玉市役所総務部総務課

〒319-0192 茨城県小美玉市堅倉 835

TEL 0299-48-1111